

## 自転車競技を日本のメジャースポーツに

10年ほど前に日本にスポーツサイクルブームが起こり、今や定着した感すらあります。全国で自転車イベントやレースが開催され、多くの方がスポーツ自転車を愛用しています。

しかし、野球やサッカーと比べると自転車競技はまだマイナー競技と言えるでしょう。海外ではヨーロッパを中心に自転車競技は以前からサッカーと並ぶメジャースポーツであり、ロードレースと共にトラックレースも人気競技であります。

日本には44ヶ所の競輪場を含めて60ヶ所以上の自転車トラック競技場が存在します。これはダントツの世界一位であり、自転車大国のイギリス（27ヶ所）を大きく引き離しています。これは競輪場がギャンブル場としてしか活用されておらず、トラック競技場として広く国民に開放されて来なかったことの証左であります。

また、日本人は過去4回のオリンピックにおける自転車トラック競技で、合計3つのメダルを獲得しています。これはいずれも現役競輪選手（合計5人）によるものですが、彼らの認知は極めて低いと言わざるを得ません。これは、やはり彼らがギャンブルの対象としてしか扱われて来なかったことの証左と言えます。

安全にスピードを出せ、安全にレースができるトラック競技場を活用し、自転車競技人口を増やす。自転車競技ファンの醸成、自転車交通安全知識の普及から自転車文化が根付きます。そして自転車競技を野球、サッカーに並ぶ「日本のメジャースポーツにする」これは多数の競輪場、競輪選手を有する国ならではのこそできることであり、競輪事業に深く関わる当社がやらねばならないことであります。